

プロフィール

明石洋子（昭和21年生まれ）

最終学歴 昭和44年3月 九州大学薬学部薬学科卒業 国家資格：薬剤師

（補足：平成24年 品川区社会福祉協議会社会福祉士コース卒業 国家資格：社会福祉士）

経歴等

社会福祉法人あおぞら共生会 理事長〔無認可小規模作業所「あおぞらハウス」を平成元年に設立してから、グループホーム、サポートセンター、相談支援等の事業を設立、現在13事業所を運営〕

一般社団法人川崎市自閉症協会相談役（前会長） NPOかわさき障がい者権利擁護センター副理事長（前理事長）（社福）「ともかわさき」評議員（元理事）、

元（経歴）、全日本手をつなぐ育成会編集委員・組織財政委員・評議員、日本自閉症協会企画編集委員・評議員、NPO全国障害者生活支援研究会（サポート研）理事・監事、厚労省文科省主催「発達障害支援に関する勉強会」有識者委員（「発達障害者支援法」成立）、川崎市特別支援教育推進検討委員会委員、川崎市発達障害整備検討委員会委員、川崎市社会福祉協議会あんしんセンター業務監督審査会委員、川崎市知的障害者相談員、（社福）川崎市社会福祉協議会評議員、川崎市障害者施策審議会委員、川崎市発達障害者支援地域連絡調整会議委員、川崎市障害者社会参加推進協議会副委員長、川崎市障害者団体部会（13団体）副部長、かみひこうき（旧大門明石塾）副代表 等々

立教大学非常勤講師、製薬会社薬局商社等の管理薬剤師（薬剤師業務28年）

現在の社会福祉法人あおぞら共生会での担当（資格）

理事長、サービス管理責任者、相談支援専門員、第1種衛生管理者

活動内容等

知的障害を持つ自閉症の長男の成長に合わせて、地域訓練会（親の自主訓練会）・保育園・義務教育（普通級）・高校進学へ、そして放課後は学童保育・学齡児活動、更に「アイススケート日曜学級」「夏休み水泳教室」等余暇活動を企画運営して、同年齢児や地域の人々と少しでも多く接する場と機会をつくった。働く場も地域で、さらに親亡き後も「地域で暮す」を実現するために現在も活動する。特に、心のバリアフリーとノーマライゼーション実現のための啓発を大切に、市民活動を展開している。

特に、世界自閉症啓発デー（4月2日）の啓発イベントとして、2009年4月に「ようこそ自閉症ワールドへ」の第1回を川崎市民プラザ（500名定員）で開催し、以降2023年で第16回開催。昭和51年1月地域訓練会会長をスタートに、現在まで40数年続けている。

「社会に自立」を子育ての方針にし、親亡き後の不安感は、「日中活動の場・暮らしの場・24時間365日必要な時のサポート体制」この三点セットが、地域の中にあり、気軽に使えれば、解消すると考え、「あおぞら共生会」（地域作業所、グループホーム、サポートセンター等運営）を平成元年に設立。

現在相談支援事業含め13の事業を展開中。

地域作業所も街の中の八百屋さん等お店として地域と交流しながら「地域への就労拠点」と位置づけし、地域の商店や企業更に公務員への就労の道を開く。さらに、リスクの多い地域で親亡き後も暮すには、人権擁護が必須と、平成21年4月「NPOかわさき障がい者権利擁護センター」を川崎の5つの親の会で設立。理事長そして現在副理事長として成年後見、虐待防止等権利擁護活動中。

平成21年からPandA—J「大門明石塾」で、成年後見含め権利擁護システム等を研究し（5年間）、現在「かみひこうき」としてPandA—Jから独立して活動中。

著書等 「ありのままの子育て」「自立への子育て」「お仕事ががんばります」（ぶどう社）発刊（韓国で及び中

国で翻訳版3冊及び韓国でコミック3巻も出版)。平成29年10月「思いを育てる、自立を助ける」(本の種出版)発行。令和2年「地域に生きて」(ぶどう社)を明石邦彦と共著で発行。薬剤師の職能を生かして、「からだ!!げんき!?!」(全日本育成会)、その他全日本育成会の情報誌「手をつなぐ」の編集委員(4年間)として原稿多数掲載。その他、発達障害者支援法ガイドブック(河出書房新書発行)、自閉症ガイドブック(日本自閉症協会発行)、「障がいのある人の意思決定支援」(現代人文社)等共著での著書も多数。保育学会誌や「小児科臨床」「実践成年後見」,「臨床心理学」,「実践障害児教育」「アスペハート」等の学会誌専門誌などに論文多数掲載。週刊誌「女性自身」(取材記事は重松清氏執筆)、「文藝春秋」、LEE、クロワッサンなど一般誌各誌にも広くその活動内容がとりあげられた。

テレビ出演等

- ① NHK 総合TV 新日本探訪「笑顔で街に暮らす」(25分) 1999年11月21日放送
- ② NHKBS:列島スペシャル「お仕事がんばります」(50分) 2000年2月20日放送
- ③ NHK総合:朝の番組「生活ほっとモーニング」の生放送に50分出演(2005年8月23日)その中で、ドキュメント(記録)映像:「てっちゃん便りから始まった」(約25分を2回に分けて放送)
- ④ 読売TVニュース番組:リアル特集「自閉症と共に生きる」。内容は、鹿児島県ソロプチミスト協会(女性経営者の会)30周年講演会での徹之の講演風景と川崎での仕事ぶり(約8分)
- ⑤ 韓国放送公社日曜スペシャル「幸福なレインマン走って世の中に」(60分)2003年3月放送
- ⑥ NHK教育TV土よう親じかん「クラスメートは発達障害」(30分)平成20年5月17日放送
- ⑦ NHK総合TV首都圏ネットワーク特集「発達障害とともに」5日間シリーズ
「自立を温かく見守って」(11分)21年4月10日放送(その後3回放送)
- ⑧ NHK総合TVおはよう日本「発達障害の公務員の自立」(11分)21年4月18日放送
- ⑨ ローカルTV iTSCOMニュース 「ようこそ自閉症ワールドへ」(イベント風景)(4分)
21年4月7日放送

日本、米国、韓国、中国で講演多数。各講演会の様子が、地元の新聞やニュースで放送された。

賞罰等

平成8年5月「国際ソロオプチミスト」日本東リジョンより「女性栄誉賞」受賞。

平成20年2月「第4回ヘルシー・ソサエティ賞」(受賞者4名)のボランティア部門賞を受賞(帝国ホテルで常陸宮殿下妃殿下ご臨席、高村外務大臣等3大臣列席、400人の祝賀会開催)。

平成23年12月3日の障害者の日の市民の集い(サンピアン川崎)で、「川崎市市長賞」受賞。

平成24年12月6日、「厚生労働大臣賞受賞」(厚労省にて)。皇居にて天皇皇后両陛下に拝謁、記念撮影。

平成29年11月2日、「第19回糸賀一雄記念賞(大賞)」受賞(びわ湖ホールにて)

令和5年11月8日、「川崎市文化賞(社会功労賞)」受賞(川崎市新庁舎にて)

関連ウェブサイトURL

(社福) あおぞら共生会(理事長) <http://www.aozora-kyouseikai.com/>

(一社) 川崎市自閉症協会(相談役、前会長) <http://homepage3.nifty.com/kusabue/>